

チューニングSPEC.

これだけやって  
サツと

200万円



マフラーもHKS製。というワケでこのクルマ、ほとんど走るHKSという観あり

燃料コントロールはHKSのAICが担当

インタークーラー、ウエストゲート共にHKS製。ブースト1kg/cm<sup>2</sup>で470~480psまでは計測可

EXハウジングにTD05、INハウジングにTD06と、スペシャルタービンを2基装着

エキゾーストマニホールドはHKSのステンレス製

1.5mmオーバーサイズのHKS鍛造ピストンと、2mm厚メタルガスケットで圧縮比は8.3

〇お気づきかな? 大阪じゃもうナンバーが34になっている

〇ステアリング下にターボタイマ、燃料コントローラー、VVC、ブースト計あり



ウチのベンチ、4800rpmくらいまでは計れるんですけど、このソアラは...



トライアルの紅一点、石山サン。彼女目当のお客サンも多かったりして...



〇ホイールはBBS、タイヤはピレリP700。おまけにシートは本革張り。うーん、リッチ

チューンドにも松竹梅とあるが、このソアラはさしずめ、松の一本みたいなクルマや。

ただでさえばかっ速い7Mを、ツインターボでさらにブーストアップしてるんやから、その実力は推して知るべし。本当にパワーが立ち上がってくる4000回転以上で全開にしてやると、1・5トンのソアラが、ケツに火がついたネコみたいにカッ飛んで行きよる。

しかも、ごつう金が掛けるさかい、ゆったり走ってる時は実に優雅なんやな、これが。

ツインターボの効果で、1kg/cm<sup>2</sup>以上のハイブースト掛けるとは思えへんくらいターボの立ち上がりが見ええから、ATでもまったくもたつかんとダッシュしよる。排気音も、アクセル開度が小さいときは意外に静かや。

ハッキリいうて、フツーに走るとればノーマルとなんも変わらへん快感さが味わえる。

流行の言葉でいえば、究極のチューニングカー、というところやろかいな。

レポート ● 鈴木直也

2000rpmのトルク感が+100ccの威力

ソアラ3.1GT F1ターボ

byマインズ **MINE'S**

余裕で Max. Power **380**PS



〇ベースは1JGT。エアロは純正。BBSのアルミにポテンサRE71の55、50をばく

イマールのネット230馬力なんて、ガキみたいなものさ。